

日本ミシェル・アンリ哲学会

第五回研究大会 プログラム

日本ミシェル・アンリ哲学会の第五回研究大会を下記の通り開催いたします。

今年2013年はミシェル・アンリの主著である『現出の本質』出版から50年にあたります。この大著においてその根本的な基礎が確立されたアンリの現象学は、特に晩年にはキリスト教との密接な関係のもとに、否定的にせよ肯定的にせよ、「神学的転回」とも呼ばれる相貌を見せることとなります。そのような「転回」は『現出の本質』の中に既に胚胎していたのかどうか、それともそれは晩年における何らかの切断を表しているのかどうかなど、様々な問いを誘発しますが、今大会ではそのようなアンリの哲学とキリスト教との関係をめぐってシンポジウムを企画しました。シンポジウムでは、現代フランスの宗教哲学を専門とする佐藤啓介氏と、アンリ最晩年の『キリストの言葉』の翻訳者である武藤剛史氏を招き、この問題について討議します。

今大会ではさらに、研究者による発表が二つ行なわれます。一つは教育学的観点からアンリの哲学を論じるという、これまでのアンリ研究にはなかった斬新な視点からの発表で、もう一つはアンリによるカントについての遺稿の調査の成果も盛り込んだ、哲学史的にも重要な取り組みです。これらの発表とシンポジウムを通じて、アンリ哲学の今日的な可能性の明確化と、哲学の歴史の中でのその位置づけの解明が可能となると期待されます。

本学会の研究大会は会員以外の方も参加自由です（無料）。アンリや哲学・現代思想に興味をお持ちの方はどうぞお気軽にご参加ください。また大会終了後には懇親会も予定しております（有料）。

期日：2013年6月9日（日）

会場：関西学院大学 大阪梅田キャンパス1004教室

（大阪市北区茶屋町19-19 アプロースタワー10階）

【研究発表（午前）】

11:00～12:00

崎浜聡（大阪大学）

「生の現象学と教育——生の教育創成への序論」

12:00～13:00 昼食

13:00～13:40 総会

【研究発表（午後）】

13:50～14:50

服部敬弘（日本学術振興会）

「意識の分析的統一——アンリによるカント批判の意味」

【ワークショップ】

15:00～17:30

テーマ：「アンリ哲学とキリスト教」

パネラー

佐藤啓介（聖学院大学）

「ヨハネとアンリ——キリスト教思想からみるアンリ（仮）」

武藤剛史（共立女子大学）

「神の内在と超越——アンリとキリスト教」

司会

榊原達哉（徳島文理大学）

日本ミシェル・アンリ哲学会事務局

〒857-1193 佐世保市沖新町1-1 佐世保工業高等専門学校 川瀬研究室内

Tel/Fax : 0956-34-8436 E-mail : kawase@sasebo.ac.jp

ホームページ : <http://www7b.biglobe.ne.jp/~michelhenry/>